

しるやま



磐田市立城山中学校だより 第2号
令和6年5月7日発行

校 訓 「強く（健康）正しく（慧知）明るく（誠実）行う（責任）」

学府(学校)教育目標 郷土を愛し、志をもち、自己実現を目指す生徒

～よりよい社会と幸福な人生を自ら切り拓く“未来の創り手”の育成に向けて～



令和6年度がスタートして、早くも1か月が経過しました。新入生はそろそろ学校生活のリズムにも慣れてきた頃でしょうか。5月は何ととっても体育大会が控えており、GW明けからは早くもその練習が始まります。学級で一致団結して取り組むことが期待されます。

また、5月1日にはPTA総会が行われ、令和6年度の役員や活動方針が可決承認されました。今年度も保護者のみなさまとともに、子供たちの健やかな成長を支えていきたいと思いをします。

3年生修学旅行

4月23日から25日の3日間、3年生は奈良・京都方面に修学旅行に行ってきました。前年度のうちから入念な準備を進め、事前学習を重ねてきた生徒たち。実際に訪れた古都の地で本物に触れ、教科書や資料集では感じられなかったホンモノの迫力、京都でしかできない体験、かけがえのない仲間とともに過ごす時間。生徒たちにとってかけがえのない思い出の一つになったに違いありません。



令和6年度 PTA 会長 御挨拶 増田 智哉 様



今年度、PTA会長を務めさせていただくことになりました増田智哉と申します。1年間よろしくお願いいたします。今年度は過去の活動内容を元にPTA活動の見直しを図り、スリム化を目指して行きたいと思いをします。そのためには先生方と会員皆様方の協力が必要となります。子どもたちが安心して成長出来る学校生活を過ごせるにはどうしたら良いかを第一優先に考え、活動していきたいと思いをします。城山中学校に携わる全ての方が充実した生活を送れるよう、皆様方の御支援と御協力の程よろしくお願いいたします。

2年生フィールドワーク（職場訪問）

2年生は、「社会で活躍する人々の思いや考え方を探ろう」をテーマに探究活動をしています。その一環として、浜松市の事業所等を訪問させていただき、見学やインタビュー活動を行いました。様々な分野で活躍するたくさんの「大人」から示唆を得ること、また、浜松市の事業所を尋ねることで、公共交通機関を用いての行動計画の立案の仕方を学ぶこと、協調性や行動力を身に着けることなどが目的です。生徒たちが訪問した事業所は実に40か所にも及びました。生徒たちは帰校後に訪問先で学んだことをレポートにまとめ、5月1日の参観授業の際にその発表会を行って、保護者の方々にも成果を示すことができました。御協力いただいた事業所のみなさまに感謝申し上げます。



1年生は「いわた大祭り」で活躍

4月27日に、第22回いわた大祭りが開催され、本校からは1年生が「手踊り」に参加したことは、学校HPのほか、新聞紙上等でも紹介があった通りです。本校における総合的な学習の時間は、その第1単元として「郷土の魅力と課題を探ろう」を設定しています。今回も地域にお住まいのみなさまに御来校いただき、手踊りの指導をしていただきました。これらの活動が学校教育目標にある「郷土を愛」することにつながっていることは、大祭り当日の生徒たちの表情を見て強く確信できました。



10組レク・校外活動

10組の1・2年生は、24日(水)に屋内レクリエーションと校外学習を行いました。仲間と協力して、知恵を絞り、うまくいけば素直に喜ぶ。この活動を心から楽しんでいる様子が伝わってきます。昼食をはさんで出かけた校外学習では、ヤマハ発動機コミュニケーションプラザに向かいました。担当の方のお話を聴いたり、製品のシミュレーターにまたがってみたり…。地元を代表する大企業に強く関心を持って、たくさんのことを学ぶ機会になりました。



5月のおもな行事予定

7日(火) 9日(木)	教育相談	24日(金)	体育大会学年練習
10日(金)	午後カット 清掃なし	28日(火)	体育大会全校練習
13日(月)	コミュトレガイダンス	30日(木)	生活アンケート 体育大会準備
16日(木)	生徒大会	31日(金)	校内体育大会 <弁当持参>
20日(月)	教育実習開始		



5月1日 生徒指導主事の話より

昨今頻発するSNSトラブルについて一律に御理解いただくため、1日の学級懇談会の冒頭、生徒指導主事より保護者のみなさまに以下のようなお話をさせていただきました。大切な内容ですので、当日お見えになれなかった方はもちろん、懇談会に御参加くださった方も今一度お読みいただきたく、話の要旨を以下に掲載いたします。

近年、生徒間のトラブルやもめ事は、SNS上に書き込まれた言葉やアップされた写真や動画などが原因になることが多くなっており、本校もその例外ではありません。トラブルの例としては、特定の人物に対する誹謗中傷、他人の写真や動画を無断で加工してアップすること、アップされたものを安易に拡散することなどが挙げられます。例えばそれがおもしろがって軽はずみにやった行為であっても、相手が苦痛を感じればそれは「いじめ」です。場合によっては犯罪行為として警察から事情聴取を受けたり、あるいは逮捕されたりするといった事例もニュースで報道されています。

SNSの怖いところは不特定多数の人の目に触れることがあるとともに、一度あげられたものは一気に広がり完全に消すことができないところです。悪口や誹謗中傷を書かれた相手は、不安に駆られ、それが原因で体調を崩したり、学校に来られなくなったりするかもしれません。最悪の場合自ら命を絶ってしまうことにもつながる可能性があります。実際に全国でもそういった悲しいニュースが報道されています。

ただ、そういった怖い要素を含んでいるものの、SNS上にあげた人物が誰かを特定したり、どの範囲まで拡散されたかを追ったりすることは困難を極めます。我々大人が介入してすべてを解決するには限界があるというのが正直なところです。

そこで保護者の皆様をお願いします。

こういったトラブルを未然に防止するために、お子さんがスマートフォンやSNSを利用できる端末を使用している場合は、その内容を定期的に確認していただきたいと思います。お子さんに対し、友達とやりとりしている内容が保護者にも見せられるようなものかを聞いてみてもいいかもしれません。自分の子どもは大丈夫と思っていても、今の中学生は我々よりもスマートフォンの使い方に長けていて、想像もつかないようなことまでできてしまうことがあります。もちろん、お子さんのプライバシーを尊重してあげることも必要です。ただ、判断力や経験がまだ十分でない中学生がSNSを使うことは、免許もなく、車両の特徴や交通ルールを知らないまま自動車の運転をしているようなものかもしれません。だからこそ、使い方を間違えると人の命を奪ったり、人生を狂わしたりする可能性があるということを御理解いただくとともに、保護者の皆様には今一度見届けの御協力をお願いしたいと思います。この機会にぜひ、お子さんとSNSの利用について話をしてみてください。

中学校でもSNSの利用については定期的に注意を呼び掛け、指導していきます。また、本年度は講師を招き全校でSNS講座を実施していく予定です。また、我々職員は生徒の安心安全な学校生活のために、今後も生徒に寄り添った指導を心掛けてまいります。何かお子さんの様子で心配なことがありましたら、御相談下さい。